







断面計画

< 堀を横るボリューム >

外堀の現在のスカイラインを崩さないように地上階は1階に抑える

建物を挿入した家でも堀色の堀の周囲のものを認識させるため堀の内部に差し上げや開口などを検討させ、現在の原色を残す

< 飛び出すボリューム >

地下の空間が主である3つの建物に外部へ飛び出すボリュームを挿入することで空間に変化をみえる

ボリュームの中に入ると天井、壁、床がそこから見える風景を切り取る

その風景は自然場所によってそれぞれ異なる

普段とは違うそこから堀の景色をラウンジや展示室の機能とともに楽しむ

夜になるとそのボリュームは単調な景色の中にそれぞれ浮かび上がる

< 鑑賞棟 >

来場者には大きな空間を流れるように移動してほしい

1つ1つの空間がそれぞれで完結してしまうのではなく吹抜けなどを介して繋がりを感じさせる

ある場所にいるとき他の場所の気配を感じ人々は次々と導かれていく

< 制作棟 >

アトリエでアーティストは大小様々な制作活動を行う

その制作活動に対応するために天井高6mの2層分の吹抜けをアトリエに設けた

壁によってアトリエを分けて制作するアーティストが1つの大空間に滞在し、お互いの作品を見ながら刺激しあう

< 体験棟 >

一般客に芸術活動を体験してもらう

来場者は天井高3mの教室で活動し、全体で24人×4室の96人収容することができる

2層分の吹抜けは利用者全体で共有するが主に小規模の作品を対象とする

制作棟 南立面図 1/200

制作棟 北立面図 1/200

G-G' 断面図 1/200

